

2008年11月1日

# 安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097  
 ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/apcenter/awa/>  
 発行:安房農林振興センター振興普及部改良普及課・安房農業改良普及事業協議会



稲刈り体験の様子（9月21日）

農業体験を通じて、食の大切さや自然の素晴らしさを、親子で学んでもらおうと、館山市広瀬で「田のくろ大生校」が開催されました。今年は親子11組30名が参加しました。5～8月にかけてトウモロコシやメロン等の栽培・収穫体験を行い、9月には稲刈り体験や収穫祭を行いました。収穫祭では、新米で作ったお

活動紹介

地域の活性化に貢献!!

たてやま緑の仲間たち

餅やふかし芋が振舞われ、収穫の喜びを分かち合いました。10年目を迎えた「田のくろ大生校」は、旧JA安房青年部が始めたもので、平成18年度からは、青年部OBや地元生産者が中心となって結成した「たてやま緑の仲間たち」が主催しています。（後援：館山市、共催：安房農林振興センター）

緑の仲間たちは今年10月、地元のお米や野菜に親しんでもらおうと、「お米の里の秋祭り」も開催しました。直売所「南房総なのはな村」前では、かかしコンテストや新米おにぎりの無料配布が行われ、新米や新鮮な野菜を求める人で賑わいました。

「もっと地元農産物の素晴らしさを知って欲しい。」と代表の龍崎氏。現在12名のメン



たてやま緑の仲間たち メンバー募集中です！

バーは、野菜・米・花・料理など、それぞれの得意分野を活かして、いきいきと活動しています。緑の仲間たちは、来年度のイベント参加者はもちろん、今後の活動の幅を広げるため、運営に協力してくれる意欲的なメンバーも募集しています。

これからも当センターは、消費者と農業生産現場との交流活動を支援し、地域農業の活性化を図っていきます。

（高橋侑美佳）

## トマト黄化葉巻病の まん延防止にご協力を!



現在、トマトにとって最も重要な病害の一つに「トマト黄化葉巻病」があります。全国的に発生が拡大していく中、安房地域でも昨年度初めて発生が確認されました。

### ◎症状と原因

先端部分やわき芽の葉の縁部分が黄色く変色し、上や下に巻きます。この病気は、タバココナジラミという体長1mm弱の小さな虫によって伝染するウイルス病です。

### ◎まん延防止対策

- ①病気にかかっていない苗を選んで植える。
- ②トマトはもちろん、その他の野菜についてもタバココナジラミの発生に注意し、防除を行う。
- ③疑わしい株が見られたら、農協や振興センター等に連絡する。
- ④感染した株は栽培終了後、

放置せずに土中に埋めるか焼却して処分する。

トマト農家のみなさんは、ハウスに防虫ネットを張るなどの対策を取っていますが、害虫の侵入や逃亡を防ぎきれません。昨年は、本病害によりトマトの栽培を中止された方もおり、大変な被害が発生しました。

振興センターとしては、生産者、種苗店、農協、市役所などに向けた情報発信や発生拡大の防止に向けた活動に取り組んでいます。また、防虫ネットを張ることで夏場のハウス内温度が上昇するため、遮光資材を利用した昇温抑制効果の現地試験を実施しています。

トマト黄化葉巻病まん延防止のため、全てのトマト栽培者のご協力をお願いします。

(金森啓介)

## 施設園芸の 省エネルギー対策

原油価格の高騰から施設園芸農家の皆様は、暖房の効率化とコストの節減に迫られている事と思います。再度、省エネルギー対策について点検しましょう。

### ①保温対策

被覆材による内張りカーテンは必須です。一般的にアルミ蒸着フィルム(反射性資材) V農ビ V農CO V農酢ビ V農ポリの順に断熱性が高くなります。反射性資材では、反射率の高い面を外側にした方が断熱性及び保温性が高まります。展張方法では、2層 V2重(資材を二重に重ね) V1層の順に効果が高いです。2層カーテンの場合、層と層の間に1cm以上の空間を空けるようにします。

天窓や換気扇、出入り口な

どの隙間から逃げ出す熱量は最大で20%程度もあるといわれます。補修と目張りや気密性向上を図りましょう。内張りカーテンの合わせ目や裾部分には特に注意が必要です。

施設北側への断熱資材被覆(発泡スチロールの外張り等)も効果的です。

### ②加温対策

送風ダクトも破れが無い点検しましょう。施設内数カ所に温度計を設置、確認して温度分布が均一化するようダクト配置を考慮しましょう。温度ムラの改善には、循環扇の設置効果が高いです。

暖房機の缶体、ストレーナー、バーナー、ノズル等も定期的な掃除や交換に努め、サーモスタットが正しく作動しているか確認しましょう。

なお、省エネ技術導入には補助事業が利用出来る場合がありますので、各市町担当課、当センターまでお問い合わせください。

(種谷光泰)

# ブルーベリーの品種紹介

ブルーベリーは、北アメリカ原産でツツジ科スノキ属の落葉低木です。栽培されている品種は50種類以上あるといわれていますが、大別すると3種類になります(下表)。

果実を収穫して販売する営利栽培には、一般的にはハイブッシュ種とラビットアイ種が用いられています。いずれの品種も、酸性土壌(pH4.3~4.8)を好み、停滞水、過度の施肥に弱い性質があります。ハイブッシュ種より、ラビットアイ種のほうが土壌適応性が広く、pHは4.3~5.3くらいまで、粘土質を含む埴壤土でも生育は可能です。

栽培地の条件、販売方法によつて品種の適否が異なるため、経営に適した品種を選択することが重要です。

品種選定の判断基準としては、成熟期、収穫期間、収穫量、果実品質、耐寒性、収穫作業の難易、整枝・せん定の必要量、耐病性、果柄痕の状態、果実の保存性、などがあ

表:ブルーベリーの品種の大別と主な特性(千葉県での栽培)

種類	樹高	耐寒性	収穫期	収穫量	果実	栽培地	営利栽培	千葉県南部の代表的な栽培品種	
ハイブッシュ	北部	2~3m	あり	6月上旬~7月上旬	中~多	小~大	寒冷地向き	適	アーリーブルー、デューク、ブルークロップ
	南部	・	あり	・	・	・	暖地向き	適	シャープブルー、オニール、ミスティ
ラビットアイ	3m~	なし	7月上旬~9月上旬	中~多	小~大	暖地向き	適	クライマックス、バルドウィン、ティフブルー	
ローブッシュ	0.5m	あり	6月下旬~7月中旬	少	少	寒冷地向き	不適		

ります。経営に取り入れる際には、近隣の栽培状況などを確認し、販売条件に適合し、収穫量と品質が安定した品種を選びましょう。(高橋京子)

## 放牧のすすめ

近年、遊休農地を利用した牛の放牧が広まっています。畜産農家にとっては家畜管理の省力化、飼料費の節減、牛

の健康が図られる一方、地主や地域的には除草作業の軽減や景観保全、有害獣の被害軽減などの効果が期待できます。安房地域でも、鴨川市、南房総市の一部で実施されています。放牧技術の一端をご紹介します。

### ① 牧 柵

かつては有刺鉄線などが利用されましたが、現在は電気柵が多く利用されます。電源を牛舎など建物から引くものや太陽光で発電するもの、乾電池を使用するもの等あります。電線も、張りの強いワイヤー製のものからポリエステルのひも状のものまで多種販売されています。

### ② 確実な馴致(じゅんち)

馴致とは牛を外部の環境に馴らせ、電気柵に触れてはい

### ③ 頭数と牛の状態

1頭で放牧すると牛が不安になるので、必ず2頭以上の複数で放牧します。また、放牧する牛は、乳牛であれば育成牛、乾乳牛、和牛であれば受胎が確認された繁殖用雌牛が望ましいです。

県では放牧資材の導入に対して、補助事業を用意していますので、各市町担当課、当センターまでお問い合わせ下さい。(山田 博)



放牧のようす

**ちばエコ農業に  
取り組んで  
みませんか**



県では「ちばエコ

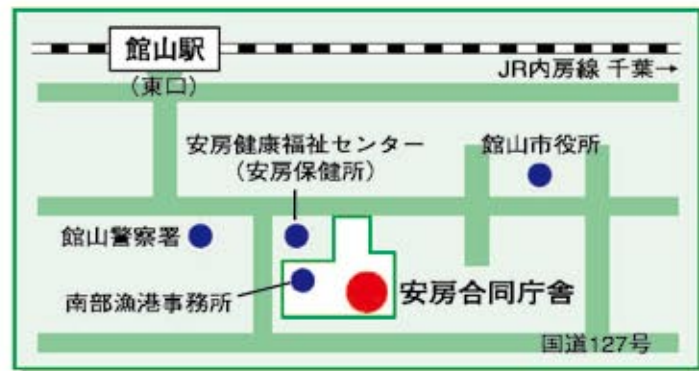
農業」を推進しています。これは、①自然環境に与える負荷を軽減し、持続的な農業を推進すること、②生産者と消費者のお互いの顔が見える農業を実現し、消費者の求める安全・安心な農産物を供給すること、を目指すものです。「ちばエコ農業」では、化学合成農薬と化学肥料を通常の半分以下で栽培します。栽培開始前には栽培計画書を、収穫開始前には基準を守って栽培されていることを、県の職員が確認します。認証される「ちばエコ農産物」として、出荷物に認証マーク（右絵）を付けて販売することができます。

農林振興センターでは、栽培計画の作成等、ご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。（宮本直子）

**職員**

**紹介**

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 振興普及部長          | 永井 俊博 |
| 改良普及課長          | 梅原 彰  |
| 主席普及指導員         | 糸 喜幸  |
| <b>館山地域グループ</b> |       |
| 諏訪 文二グループリーダー   |       |
| 川名 瑞枝 (担当 生活)   |       |
| 今関 達治 (担当 林業)   |       |
| 浅野清一郎 (担当 作物)   |       |
| 細井 美穂 (担当 果樹)   |       |
| 種谷 光泰 (担当 花き)   |       |
| 海老原克介 (担当 野菜)   |       |
| 高橋侑美佳 (担当 果樹)   |       |
| 安田 直登 (担当 畜産)   |       |
| <b>鴨川地域グループ</b> |       |
| 田上 和俊グループリーダー   |       |
| 石井 義久 (担当 野菜)   |       |
| 高橋 京子 (担当 果樹)   |       |
| 宮本 直子 (担当 花き)   |       |
| 雲内 浩平 (担当 作物)   |       |
| 金森 啓介 (担当 野菜)   |       |
| 大河原澄香 (担当 畜産)   |       |



安房合同庁舎の案内図

- 南房総地域グループ
- |               |  |
|---------------|--|
| 三枝 広グループリーダー  |  |
| 山田 博 (担当 畜産)  |  |
| 渡辺 照和 (担当 花き) |  |
| 影山 浩司 (担当 果樹) |  |
| 望月 篤 (担当 作物)  |  |
| 鐘ヶ江良彦 (担当 野菜) |  |
| 佐々木良則 (担当 野菜) |  |
| 西廣 明香 (担当 花き) |  |
| 福永 佳史 (担当 花き) |  |
- よろしくお願ひします。

平成十四年四月まで発行しておりました「緑のたより」に代わり新しく「安房普及だより」がスタートしました。お問い合わせ等ありましたらお気軽にどうぞ。

**3F**



安房合同庁舎内の案内図